

平成 27 年度 特別支援学校機能強化モデル事業 成果報告

(1) 特別支援学校のセンター的機能充実事業

団体名	名古屋市教育委員会
-----	-----------

【事業概要】

1. 事業実施前の現状と課題

通常学級に在籍する発達障害の可能性のある児童生徒の指導・支援については、小・中学校にその専門的な指導・支援を行うことのできる知識と技能を備えた教員が配置されていることはまだ少なく、校内の支援体制の中で試行錯誤しながら行っているのが現状である。

したがって、通常学級に在籍する発達障害の可能性のある児童生徒への理解や指導について、外部人材を活用し、特別支援学校のセンター的機能による専門家チームを編成して、要望のある学校・園に出向いて教職員を指導することが求められる。

平成 26 年度の事業実施においては、幼稚園 22 園、小学校 111 校、中学校 5 校、高等学校 3 校から要請があり、合計 141 校・園に対し、合計 403 回の派遣を行った。その後に実施したアンケートでは、「専門家の具体的で的確なアドバイスのおかげで今後の支援の方向性が見いだせた」などの感謝の声とともに、「是非来年度も派遣をお願いしたい」「回数をもっと増やしてほしい」などと、強く派遣を要望する声を聞いた。

毎年、子供は成長したり発達障害の様子が変化したりしていく中で、担任が替わり、引き継ぎだけでは子供の実態を十分に把握できず、不安を覚えながら指導・支援を進めなければならない現状に対して、精神科医や臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士等で編成される専門家に学校支援をしてもらうことは、子供の成長に大変有効な事業であると考えられる。

2. 事業を通じて得られた成果と課題

名古屋市内にある 4 つの特別支援学校を拠点とし、それぞれに専門家チームを組織した。専門家チームのメンバーは、医師や大学教授、臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士、療育センター職員等に依頼し、各チーム 9～10 人で編成した。

平成 27 年度は、幼稚園 22 園、小学校 115 校、中学校 10 校、高等学校 1 校の合計 148 校・園に、各校・園年間 2～3 回、合計 414 回の専門家の派遣を行った。

1 年間の派遣が終わり、事業実施後のアンケートを取ったところ、次のような声が聞かれた。

【成果としての声】

- ・ 該当児の特性や具体的な支援の方法を伝えるだけでなく、担任の困り感をしっかり受け止めて、励ましていただいた。
- ・ 該当児童が小学校を卒業するに当たり、専門家チームの先生の助言を中学校にも伝え、共通理解を図ることができた。
- ・ 数年、同じ専門家の方に来ていただいているため、継続した支援をしていただけて助かった。
- ・ 学期ごとに訪問があるので、児童の変化の様子を見てもらい、前回の助言によって改善した指導や支援の方法を確認することができた。
- ・ 発達障害の可能性のある児童に対する指導や支援に対して、きめ細かくアドバイスをしていただいたので、その後の保護者への対応や学級経営に活用することができた。

- ・ 一人一人の子供を分析して指導することや全職員で共通理解のもと指導することの大切さを学ぶことができた。

【課題としての声】

- ・ 今後、継続して今回の子供たちを見ていただきたい。
- ・ 複数の児童を見ていただくと専門家チームのお話を聞く時間の確保が難しくなる。
- ・ 4～5月の早い時期に1回目があると、その後の指導に生かしやすくなると思う。
- ・ 現在は学期に1回程度の回数だが、もう少し増やしていただくとありがたい。
- ・ 専門家の先生が訪問してくださるのが2、3学期のため、1学期の指導に困っている。
- ・ もう少し早い時期に来ていただくと、いただいた助言を指導に十分に生かすことができると思う。

派遣された専門家が授業等を参観し、その時の子供の様子から、担任や学校の支援・指導について助言するこの事業については、アンケート以外にも感謝の声をよく聞く。

名古屋市には、小学校262校、中学校111校、高校15校、特別支援学校5校、幼稚園23園の合計416校・園が設置されている。その中の148校・園は、前述したように、専門家チームの存在と専門家派遣の効果を高く評価しているが、それは名古屋市立の幼稚園・小・中学校・高等学校全体の1/3に留まり、専門家派遣の効果や良さがまだ十分に周知がされていないと感じる。

また、更なる派遣回数や時間数の増を望む声は強い。回数や時間数を増やすことは予算事項であり簡単にはできないが、1回の派遣が充実した効果を生むようにしていきたい。

3. 解決策（次年度の重点的取組等）

専門家チームの派遣事業の周知については、校長が集まる区単位あるいは全市の会等、様々な場で事業の中身や概要、専門家を派遣した学校のアンケートの結果をお知らせすることで、専門家チームの派遣事業の効果について周知していきたい。

派遣回数や派遣時間の増を望む声に対しては、すぐに応えることができないが、専門家から受けた指導・支援の内容について現職教育を行っていただくなど、校内で教員としての力量向上を図る研修をしてもらうことで、1回の派遣がより充実したものになると考える。

4. 事業成果の維持・発展に向けた方針

本事業の成果を更に発展させ、課題を解決するために、予算増額要求の働き掛けとともに派遣回数や派遣時期の柔軟な対応ができるよう研究していきたい。また、特別支援学校において、特別支援教育コーディネーターを中心に、地域の小・中学校の教員を招いて、専門家による特別支援教育についての理解・啓発の事業を行い、センター的機能の充実もますます図っていきたい。

【推進地域及び指定校一覧】

推進地域	指定校	
名古屋市	1	名古屋市立西養護学校
	2	名古屋市立南養護学校
	3	名古屋市立天白養護学校
	4	名古屋市立守山養護学校